平成22年３月期　第３四半期決算短信(非連結)

平成22年２月１日

上 場 会 社 名　株式会社トリドール　上場取引所　東
コ ー ド 番 号　3397　URL　http://www.toridoll.com
代　表　者　(役職名)代表取締役社長　(氏名)粟田　貴也
問合せ先責任者　(役職名)経理部長　(氏名)若山　義晃　TEL (078)―200―3430
四半期報告書提出予定日　平成22年２月９日　配当支払開始予定日　―

(百万円未満切捨て)

1.　平成22年３月期第３四半期の業績（平成21年４月１日～平成21年12月31日）

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年３月期第３四半期	28,384	62.8	3,566	79.5	3,512	82.8	1,740	88.3
21年３月期第３四半期	17,440	―	1,986	―	1,922	―	924	―

	１株当たり四半期純利益		潜在株式調整後１株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
22年３月期第３四半期	8,872	63	8,869	13
21年３月期第３四半期	14,973	41		―

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産	
	百万円	百万円	%	円	銭
22年３月期第３四半期	24,226	7,276	29.9	36,907	13
21年３月期	18,129	5,761	31.8	88,105	16

(参考)　自己資本　22年３月期第３四半期　7,240百万円　21年３月期　5,761百万円

2.　配当の状況

	１株当たり配当金									
	第１四半期末		第２四半期末		第３四半期末		期末		合計	
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭
21年３月期	―		0	00	―		4,000	00	4,000	00
22年３月期	―		0	00	―		―			
22年３月期(予想)	―		―		―		1,900	00	1,900	00

(注)　配当予想の当四半期における修正の有無　：　無

3.　平成22年３月期の業績予想（平成21年４月１日～平成22年３月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	38,400	56.6	4,540	60.4	4,430	63.6	1,890	39.9	9,634	50

(注)　業績予想数値の当四半期における修正の有無　：　無

4.　その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　：　有

[(注) 詳細は、５ページ【定性的情報・財務諸表等】　4. その他をご覧ください。]

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更（四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの）

①　会計基準等の改正に伴う変更　：　無

②　①以外の変更　：　無

[(注) 詳細は、５ページ【定性的情報・財務諸表等】　4. その他をご覧ください。]

(3) 発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）

22年３月期第３四半期	196,170株	21年３月期	65,390株

②　期末自己株式数

22年３月期第３四半期	―株	21年３月期	―株

③　期中平均株式数（四半期累計期間）

22年３月期第３四半期	196,170株	21年３月期第３四半期	61,725株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、現時点で入手可能な情報に基づいて判断した見通しであり実際の業績は、今後様々な要因よって予想数値と異なる場合があります。

・定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第３四半期累計期間における我が国経済は、海外経済の改善や政府の緊急経済対策の効果などを背景に景気の持ち直し傾向が続くと期待されるものの、依然失業率は高止まりにあるなど、引き続き厳しい状況にあります。

また、外食業界においては、個人消費は持ち直しの動きが続いている一方で、緩やかなデフレ状況による販売価格の低下等により、企業収益は大幅に悪化しております。

このような中、当社は、現在の厳しい市場環境を前向きに受け止め、かつ、この機会に大いなる成長と飛躍を遂げて参りたいと考えております。

そのため、当社は、「業態の専門性」を高く掲げ、低価格帯でありながら、「手作り感」や圧倒的な「出来立て感」のある演出によって来店動機を高め、付加価値の高い豊かな食を提供することで、新しい需要を創出し次世代の外食業界リーディングカンパニーを目指して参ります。

この結果、当第３四半期累計期間の業績は、売上高283億84百万円（前年同期比62.8％増）、営業利益35億66百万円（前年同期比79.5％増）、経常利益35億12百万円（前年同期比82.8％増）、四半期純利益17億40万円（前年同期比88.3％増）と増収増益を維持することができました。

① 丸亀製麺部門

当部門（セルフうどん業態）におきましては、引き続き経営資源を集中させ、当第３四半期累計期間では、ロードサイド106店舗、ショッピングセンター内13店舗の計119店舗を出店したことにより、当第３四半期累計期間末の営業店舗数は、321店舗となり、当部門の売上高は232億11百万円（前年同期比90.4％増）となりました。

② とりどーる部門

当部門（焼き鳥ファミリーダイニング業態）におきましては、当第３四半期累計期間末の営業店舗数は、26店舗のまま増減はなく、当部門の売上高は23億66百万円（前年同期比4.4％減）となりました。

③ 丸醤屋部門

当部門（ラーメン業態）におきましては、当第３四半期累計期間末の営業店舗数は、24店舗のまま増減はなく、当部門の売上高は12億69百万円（前年同期比1.7％増）となりました。

④ 長田本庄軒部門

当部門（焼そば業態）におきましては、当第３四半期累計期間では、新たに１店舗を出店し、１店舗を閉店したことにより、当第３四半期累計期間末の営業店舗数は、結果として15店舗のまま増減はなく、当部門の売上高は７億34百万円（前年同期比25.7％増）となりました。

⑤ その他部門

当部門におきましては、当第３四半期累計期間に新たな出店はなく、１店舗を閉店したことにより、当第３四半期累計期間末の営業店舗数は、17店舗となり、当部門の売上高は８億２百万円（前年同期比14.6％減）となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当第３四半期会計期間末における資産は、前会計年度末に比べ60億96百万円増加し、242億26百万円（前期比33.6％増）となりました。主な要因は次のとおりです。

流動資産につきましては、営業未収入金が前会計年度末に比べ１億77百万円増加し、８億66百万円（前期比25.8％増）となりましたが、一方、余剰資金を圧縮したことにより、現金及び預金が前会計年度末に比べ５億74百万円減少し、43億85百万円（前期比11.6％減）となりました。

また、固定資産につきまして、有形固定資産が前会計年度末に比べ47億69百万円増加し、123億86百万円（前期比62.6％増）となりました。これらは、主に新規出店に係わる設備投資によるものです。投資その他の資産は、前会計年度末に比べ15億１百万円増加し、58億99百万円（前期比34.1％増）となりました。これらは、主に新規出店に係わる敷金及び保証金、建設協力金等の増加によるものです。

（負債・純資産）

当第３四半期会計期間末における負債は、前会計年度末に比べ45億81百万円増加し、169億50百万円（前期比37.0％増）となりました。主な増加要因は次のとおりです。

短期借入金及び長期借入金（１年以内返済予定を含む）の合計額が前会計年度末に比べ25億53百万円増加し、98億66百万円（前期比34.9％増）となりました。これらは、積極的な設備投資のための資金調達によるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当第３四半期累計期間における現金及び現金同等物は、主に新規出店にかかる設備投資等のため、投資活動に使用する資金を、営業活動により獲得及び財務活動により調達した結果、前年同四半期に比べ７億99百万円増加し、43億85百万円（前年同期比22.3％増）となりました。

主な要因は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により得られた資金は、41億70百万円（前年同期比90.8％増）となりました。

これは主に税引前四半期純利益を34億84百万円、減価償却費を15億93百万円計上した一方で、法人税等の支払による支出が16億90百万円あったこと等によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により使用した資金は、69億13百万円（前年同期比102.0％増）となりました。これは主に新規出店に伴い、有形固定資産の取得による支出が53億36百万円、敷金及び保証金の支払による支出が４億70百万円及び建設協力金の支払による支出が11億61百万円あったこと等によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により得られた資金は、21億68百万円（前年同期比41.7％減）となりました。これは主に短期借入金及び長期借入金による収入が57億円あった一方で、借入金の返済及び社債の償還による支出が31億86百万円、配当金の支払が２億61百万円あったこと等によるものです。

3.　業績予想に関する定性的情報

今期の業績につきましては、丸亀製麺部門を中心に順調に推移しております。

また、新規出店数は、目標としておりました120店舗を、既に当第３四半期累計期間末時点で達成いたしました。

以上の状況ではありますが、平成21年10月28日に上方修正いたしました通期業績予想については、現時点では売上高、営業利益、経常利益、当期純利益ともに変更する予定はありません。

但し、食材に係る安全性の問題や著しい市況変動等が生じた場合には、当社の業績見通しに影響を与える可能性があります。

4.　その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、会計年度に係わる減価償却の額を期間按分して算定する方法によっております。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期財務諸表】

(1)【四半期貸借対照表】

（単位：千円）

	当第３四半期会計期間末 （平成21年12月31日）	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 （平成21年３月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,385,722	4,960,527
営業未収入金	866,941	689,354
原材料及び貯蔵品	60,509	42,868
繰延税金資産	131,142	133,326
その他	351,660	244,012
流動資産合計	5,795,976	6,070,089
固定資産		
有形固定資産		
建物	7,910,113	4,727,038
工具、器具及び備品	2,048,702	1,077,543
リース資産	1,622,700	1,059,834
その他	804,532	752,149
有形固定資産合計	12,386,048	7,616,566
無形固定資産	144,760	44,785
投資その他の資産		
敷金及び保証金	2,388,278	1,952,832
建設協力金	2,720,331	1,987,682
繰延税金資産	187,721	184,147
その他	655,276	333,831
貸倒引当金	△52,076	△60,007
投資その他の資産合計	5,899,532	4,398,486
固定資産合計	18,430,341	12,059,838
資産合計	24,226,317	18,129,928
負債の部		
流動負債		
買掛金	970,193	709,102
短期借入金	－	300,000
1年内返済予定の長期借入金	2,615,162	1,985,034
1年内償還予定の社債	240,000	40,000
リース債務	122,470	100,857
未払法人税等	1,104,786	1,038,210
引当金	105,439	118,061
その他	2,883,254	1,762,728
流動負債合計	8,041,306	6,053,993
固定負債		
社債	－	240,000
長期借入金	7,251,833	5,028,193
リース債務	1,649,701	1,039,161
その他	7,383	7,383
固定負債合計	8,908,917	6,314,737
負債合計	16,950,224	12,368,731

（単位：千円）

	当第３四半期会計期間末 （平成21年12月31日）	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 （平成21年３月31日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,318,296	1,318,296
資本剰余金	1,375,944	1,375,944
利益剰余金	4,546,023	3,067,038
株主資本合計	7,240,263	5,761,278
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△190	△81
評価・換算差額等合計	△190	△81
新株予約権	36,020	－
純資産合計	7,276,093	5,761,196
負債純資産合計	24,226,317	18,129,928

(2)【四半期損益計算書】
【第３四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第３四半期累計期間 (自 平成20年４月１日 至 平成20年12月31日)	当第３四半期累計期間 (自 平成21年４月１日 至 平成21年12月31日)
売上高	17,440,284	28,384,342
売上原価	4,483,760	7,103,969
売上総利益	12,956,524	21,280,372
販売費及び一般管理費		
販売費及び一般管理費合計	10,969,664	17,713,719
営業利益	1,986,859	3,566,653
営業外収益		
受取利息	14,621	38,690
受取配当金	29	20
受取地代家賃	8,313	6,111
受取補助金	－	13,750
ポイント引当金戻入額	13,418	15,568
その他	14,436	26,220
営業外収益合計	50,818	100,361
営業外費用		
支払利息	46,748	136,504
貸倒引当金繰入額	11,057	－
上場関連費用	25,093	－
その他	32,659	17,656
営業外費用合計	115,557	154,160
経常利益	1,922,120	3,512,854
特別利益		
固定資産受贈益	4,200	－
貸倒引当金戻入額	－	7,931
特別利益合計	4,200	7,931
特別損失		
減損損失	93,843	－
附帯税納付額	5,178	－
店舗閉鎖損失	－	10,055
店舗閉鎖損失引当金繰入額	－	26,703
その他	465	－
特別損失合計	99,487	36,758
税引前四半期純利益	1,826,832	3,484,026
法人税、住民税及び事業税	943,465	1,744,797
法人税等調整額	△40,859	△1,315
法人税等合計	902,605	1,743,481
四半期純利益	924,227	1,740,545

(3)【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第３四半期累計期間 (自 平成20年４月１日 至 平成20年12月31日)	当第３四半期累計期間 (自 平成21年４月１日 至 平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	1,826,832	3,484,026
減価償却費	719,046	1,593,490
株式報酬費用	－	36,020
減損損失	93,843	－
貸倒引当金の増減額（△は減少）	11,057	△7,931
ポイント引当金の増減額（△は減少）	△13,418	△15,568
賞与引当金の増減額（△は減少）	△22,203	△23,756
店舗閉鎖損失引当金の増減額（△は減少）	△3,750	26,703
受取利息及び受取配当金	△14,651	△38,711
支払利息及び社債利息	46,748	136,504
上場関連費用	25,093	－
固定資産除却損	8,613	5,250
固定資産受贈益	△4,200	－
店舗閉鎖損失	465	10,055
売上債権の増減額（△は増加）	△114,544	△177,587
たな卸資産の増減額（△は増加）	△7,808	△17,640
仕入債務の増減額（△は減少）	161,320	261,091
未払消費税等の増減額（△は減少）	△36,272	70,042
未払金の増減額（△は減少）	155,342	285,311
未払費用の増減額（△は減少）	174,561	358,026
その他	△20,826	12,409
小計	2,985,248	5,997,737
利息及び配当金の受取額	1,023	888
利息の支払額	△45,232	△137,692
法人税等の支払額	△755,036	△1,690,211
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,186,003	4,170,721
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額（△は増加）	55,729	－
有形固定資産の取得による支出	△2,252,251	△5,336,347
無形固定資産の取得による支出	△14,717	△87,590
敷金及び保証金の差入による支出	△459,962	△470,872
敷金及び保証金の回収による収入	23,355	26,355
建設協力金の支払による支出	△818,500	△1,161,550
建設協力金の回収による収入	52,467	120,316
補助金収入	－	13,750
その他の収入	4,710	660
その他の支出	△13,382	△18,691
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,422,550	△6,913,969

（単位：千円）

	前第３四半期累計期間 （自 平成20年４月１日 至 平成20年12月31日）	当第３四半期累計期間 （自 平成21年４月１日 至 平成21年12月31日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	800,000	1,000,000
短期借入金の返済による支出	△500,000	△1,300,000
長期借入れによる収入	3,500,000	4,700,000
長期借入金の返済による支出	△771,404	△1,846,232
社債の償還による支出	△150,000	△40,000
株式の発行による収入	968,782	－
リース債務の返済による支出	－	△83,576
配当金の支払額	△116,641	△261,560
上場関連による支出	△8,460	－
その他	－	△189
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,722,277	2,168,441
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	2,485,729	△574,805
現金及び現金同等物の期首残高	1,100,566	4,960,527
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,586,295	4,385,722

（4） 継続企業の前提に関する注記

該当事項なし

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項なし

「参考」

1. 生産、受注及び販売の状況

(1) 仕入実績

当事業年度における仕入実績を部門別に示すと次のとおりであります。

部門	第19期 第３四半期累計期間 (自 平成20年４月１日 至 平成20年12月31日)		第20期 第３四半期累計期間 (自 平成21年４月１日 至 平成21年12月31日)	
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)
丸亀製麺	2,983,163	65.5	5,712,742	79.2
とりどーる	796,007	17.5	745,029	10.3
丸醤屋	352,293	7.7	346,734	4.8
長田本庄軒	148,706	3.3	186,003	2.6
その他	270,916	6.0	226,050	3.1
合計	4,551,085	100.0	7,216,560	100.0

(注) 上記金額には消費税は含まれておりません。

(2) 販売実績

当事業年度における販売実績を部門別に示すと次のとおりであります。

部門	第19期 第３半期累計期間 (自 平成20年４月１日 至 平成20年12月31日)		第20期 第３四半期累計期間 (自 平成21年４月１日 至 平成21年12月31日)	
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)
丸亀製麺	12,192,976	69.9	23,211,647	81.8
とりどーる	2,475,254	14.2	2,366,082	8.3
丸醤屋	1,248,030	7.2	1,269,734	4.5
長田本庄軒	584,252	3.3	734,383	2.6
その他	939,769	5.4	802,493	2.8
合計	17,440,284	100.0	28,384,342	100.0

(注) 上記金額には消費税は含まれておりません。